



# 浜銀総研 News Release



2021年8月25日

## 株式会社浜銀総合研究所と横浜市立大学が データサイエンス分野の人材育成や共同研究で連携協定を締結

浜銀総合研究所（代表取締役社長：肥塚 俊成、本社：横浜市西区、以下、「当社」という）は、公立大学法人横浜市立大学（理事長：小山内 いづ美、住所：横浜市金沢区、以下「横浜市立大学」という）と、データサイエンス分野での知見を活用した連携を進めるため、令和3年8月24日に「産学連携に関する基本協定書」を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 産学連携の理由

横浜銀行グループのシンクタンク・コンサルティング会社として独自の調査・研究成果や経営情報を発信する当社と、首都圏で初となるデータサイエンス学部とデータサイエンス研究科を有し、データの利活用とそれらを通じて新しい価値を生み出す人材の育成や研究に取り組む横浜市立大学の連携により、人材育成や共同研究などを通じてデータとその解析に基づく社会課題の解決に取り組めます。

#### 2. 産学連携の内容等

人材育成に関する連携の実施

・PBL (Project-Based Learning) 実習

PBLとは「問題解決型学習」のことで、実際の問題解決を通じて学ぶ教育手法。当社で横浜市立大学データサイエンス学部の学生を受け入れ、当社のデータサイエンティストが働く実際の企業の現場に配置します。そこで直面している課題に対して、学生がデータに基づいた客観的な認識や課題解決アイデアを創出するためのPBL実習を行い、データサイエンスを用いた問題解決へのアプローチ方法を身につけていきます。さらに、データサイエンスの学びに資する内容を共同で開発し、効果的なPBL実習を行っていきます。

#### 共同研究等の実施

当社に蓄積された様々なデータを、データサイエンス研究科の学生が解析及びフィードバックすることで、データ解析の基礎知識を提供するなど、研究シーズとニーズのマッチングに基づく様々な共同研究等の展開が期待されます。

### 3. 【横浜市立大学 データサイエンス学部/研究科について】

#### 《データサイエンス学部》

2018年4月設置。首都圏初のデータサイエンス学部として、データから新たな社会的価値を創造できる人材を育成する。現場重視を特色に掲げ、データが生まれる企業や自治体などの「現場」における実践的な学びの機会を数多く提供。

#### 《データサイエンス研究科》

2020年4月設置。データサイエンス専攻、ヘルスデータサイエンス専攻の2専攻からなり、社会実装できる高度なデータサイエンス人材を育成。データサイエンス専攻では、従来のデータ解析における、現場の知識の重要性に対する認識不足を解消し、PBLを中心とした学びを提供している。ヘルスデータサイエンス専攻では、予防・医療・介護のヘルス分野で、データをもとに政策決定のできる実践的人材の育成を行っている。

以 上

本件に関する照会先  
企画部長 松井直也  
電話 045-225-2374